

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	平成24年度第1回清須市社会教育委員会
開催日時	平成24年6月1日（金） 午後3時00分～4時05分
開催場所	清洲市民センター 2階 集会室
会議概要	1 あいさつ 2 委嘱状交付 3 議題 議題1 平成24年度社会教育委員会会議等予定について 議題2 平成23年度生涯学習行事・講座・教室等実施結果について 4 その他
会議資料	会議次第 委員名簿 資料1 平成24年度社会教育委員会会議等予定表 資料2 平成23年度生涯学習行事・講座・教室等実施結果
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
欠席委員	櫛田委員、伊東委員、鬼頭委員、石黒委員
出席者（市）	内田教育長、櫻井教育部長
事務局	（生涯学習課） 濱島次長兼生涯学習課長、加藤主幹、石田係長 檜本係長、 高山主任主査、阿野主査 （スポーツ課） 岩花課長、木全係長
会議の経過 （内田教育長よりあいさつ） （和田委員長よりあいさつ） 《意見の要旨》	

委嘱状交付

●事務局

本日は、今年度の異動等により、3名の方が前任者の残任期間を引継ぎ、新たに社会教育委員会になりました。ご紹介をさせていただきます。

国際交流協会会長 神谷 勝司 様

体育協会副会長 伊藤 眞吾 様

清洲中学校校長 岩田 茂 様

ありがとうございました。

なお、委嘱状につきましては、大変失礼かと存じますが、机の上に置かせていただきましたのでご了承願います。

それではこれより、委員会の進行を和田委員長にお願いいたします。

○和田委員長

それでは座ったままで、進めさせていただきます。

その前に、本日の委員会終了後、清須市立図書館の視察を予定しておりますので、お時間の都合が付く方は参加をお願いいたします。

議題 1 平成24年度社会教育委員会会議等予定について

○和田委員長

それではただいまより議題に添って委員会を進めさせていただきます。

議題1の「平成24年度社会教育委員会会議等予定について」を事務局から説明をお願いいたします。

●事務局

(「平成24年度社会教育委員会会議等予定について」資料1に基づき説明)

○和田委員長

ただいま事務局より説明がございました平成24年度の事業内容につきまして何かご意見、ご質問等はございますか。

格別ないようでございますので、続きまして議題2について事務局からお願いいたします。

議題 2 平成23年度生涯学習行事・講座・教室等実施結果について

●事務局

(「平成23年度生涯学習行事・講座・教室等実施結果について」資料2に基づき説明)

○和田委員長

ただいま事務局より資料について説明があり、アンケートの結果についても発表していただきました。これについて、ご意見だとか、要望、また、25年

度の講座や行事の計画にあたりまして貴重なご意見となると思いますのでよろしく申し上げます。

○齊藤委員

スポーツ教室の中でカヌーがあって、天候が悪かったために中止になったと書いてあります。天候が悪くなって中止になるような場合について予備日を考えると、そういうことはないのでしょうか。

●事務局

海洋性スポーツ体験教室は五条川で行う予定でしたが、川の推移で活動のできる時期がたいへん限られておりました、予備日を設けることができなかったというのがございました。カヌーツーリングは相手方がありまして、何日も押さえることができないということもあり、予備日を設けることができなかったというのがありました。これもギリギリまで待ったのですけれど、その日は天気だったのですが、前日の雨で放流されたということで危険を伴うということから中止とさせていただきます。

○平松副委員長

1 ページの趣味のところ、毛筆とか筆ペンの人気がないのか、少ないですね。文化協会にこういう毛筆教室などがありますし、文化協会にない教室を企画して、せっかく開くのですから、なるべく皆さんが興味を持って参加できる教室を考えていただきたいと思います。

○和田委員長

そういうことでよろしく申し上げます。

資料2にカテゴリーがあり、家庭だとか、歴史だとか、そういったもので、人気がなくともやはり続けていくというものは、人が来なくても、ただ続けるというのではなくて、来ていただいたほうがいいと思いますので、どうやれば人が来ていただけるのか、ご意見をいただきたいと思うのですが、これが本当は来ていただきたいけど、来てないという講座を事務局のほうからお伝えいただくと委員の皆さまから意見が聞けるかと思えます。人気がないけどやらなければいけないと以前言われていたので、この講座はぜひともやりたいからという講座はありますか。

●事務局

平成22年度10月の本委員会において、清須市としてやっていきたいという講座を「独自講座」とし、ニーズにあわせて内容をどんどん変えていく講座を「一般講座」とすることについて皆様にご審議いただきました。

清須市の「独自講座」というのは、文化財講座、天文教室、アートラボ、国際理解講座などのことです。文化財講座は、歴史資源のあるまち清須の歴史に関する講座を定番としてやっていきたいということで継続していますが、こち

らは人気をいただいております、毎年増員して開催しています。また、天文教室及び開放や、アートラボでは、清須市に天体ドームや美術館がありますので、施設の活用という意味で継続的に開催をしていきたいと考えております。スペイン語や国際理解講座については、国際交流員がおりますので、姉妹都市提携をしているヘレス市があるスペインについての講座をやっていただいております。毎年内容を検討し、同じ内容ではなく、関心を持っていただけるよう考えていただいているのですが、実際のところなかなか難しいという現状です。

○石垣委員

広報なんかには魅力のあるところのワンポイントをちょっと載せるといいなと思いますし、スポーツ課の講座等で、荒天のため実施ができなかったときは、ちょっと講義していただく機会があれば、せっかく応募があったのであれば、次回実施するときもプラスになるとと思いますし、想像もできるかと思っておりますのでそういうのもいいかなと思います。

●事務局

先に平松委員さんのほうからご意見をいただきましたが、以前「独自講座」と「一般講座」というご議論いただきましたが、筆ペンというのは一般教室に類します。文化協会さんのほうでやっている教室は皆さんが自分たちで集まってやられるという趣味の延長という形でそれぞれのグループでやられていますし、生涯学習課でやる事業は講師に、ご指導をお願いし、生涯の学習をお願いする位置付けでおります。趣味と学習という違いで整理をさせていただいております。

石垣委員さんからいただきましたご意見のなかの、スポーツ教室事業の広報の活用についてですが、広報紙に載せるスペースの字数の問題というのが非常に多く、限られた中に入れていく必要があります。しかし、興味を引くような内容を入れていきたいと思っております。4月の年度当初に配布させていただいております生涯学習ガイドの中には、詳しく掲載させていただいております。開催が近づきましたら広報の紙面にて周知し、募集をしてまいります。

○和田委員長

国際交流協会のほうは、国際理解講座について何かありますか。

○神谷委員

まだ新米で、実態がよくわかっていないこともあるのですが、国際理解講座というのは、国際交流協会もやっているのですね。

話し合っってやっていくということもあるという気がするのですが、できるだけ協力し合っって、お互いに情報交換してければいいなと思うので、とりあえず聞いてみたいと思います。

○牧野委員

国際交流のことについて少しお話していいですか。

今年の3月25日にウガンダ祭りというのが開かれたのですが、どうしてそれが開かれたのかわかりませんが、開催の1ヶ月前に「清須市国際交流協会も参加してもらえませんか。」と声を掛けられました。国際交流協会ではちらしを配ることくらいしか協力できないですよね。教育委員会としてはどういふふう位置づけているのか。生涯学習課の行事の欄を見ても、どこにも出てこないし、ヘレス市との交流は清須市でやっているようですが、スペイン以外の国際交流を清須市はではどこでやっていくのか、フレンドシップの相手国とはどういふ方針でやっていくのかということもなく、突然、ウガンダ祭りとは、どういふことなのかお聞きしたい。

●事務局

フレンドシップ国の相手国の取扱いについてですが、これについてはスペインが姉妹提携ということで、こちらを中心に事業を進めているということが第一点、あとフレンドシップについては、計画を持ち合せておりませんのでこれからの検討課題かなと思っております。

次に、ウガンダ祭りは3月25日に、にしびさわやかプラザで開催しております。参加人数のほうは約2,000人ということで、この開催のきっかけですが、24年の2月に入ってからジャイカ中部のほうから私どものほうにお声掛けがありました。それはなぜかといいますと、旧新川町がフレンドシップ国の相手国だったということで白羽の矢が立ったということが発端でございます。これについて共催事業をということで、お話があった時点で、このへんのところがうまく伝達がいっていなかったようですが、旧の国際交流協会の会長に最初にお声かけをさせていただいております。企画が煮詰まった段階で再度お話を差し上げたところ、結果的には参加しないとのことで、協力関係でやっていきましょうということで開催をさせていただきました。何分、主催の市ではなく、ジャイカが主催のため、急な話で申し訳ありませんでした。

○和田委員長

フレンドシップについても年間的に計画ができるようでしたらしていただいて、お知らせください。

スペインの講座については、国際交流員の方にもせつかくスペインから来ていただいておりますので、多くの方が受講していただけるように講座の表紙か何か載せるくらいの勢いで積極的に宣伝していただいて、今後の計画とかアピールの仕方の参考にしていただきたいと思います。

他に何かございませんか。

○齊藤委員

講座の提案ですけど、合併して7周年を迎えるということですが、じゃあ、

私たちここに住んでいる住民は、この清須市について知っているかというのと、幅広くは知らない。清須市のいろいろなところ、例えば西枇杷島でいいますと山車のことをきちんと理解しているのか、そういうことを理解することで市として一体感ができるのでないかと。講座の中で清須市の名人といいますか、英検にしても、漢検にしても、目的意識を持って、知識が身に付く講座をやって、ここまでできたら何級ですよとか、名人ですよ。という目標を作って、市全体のことを考えた講座を継続的にやっていくというのも講座を見直す一つのやり方かもしれません。

それと、よく町通りを見えていますとウォーキングをしている姿を見かけます。JRとかいろいろ企画していますが、名所をウォーキングして回るなどやっています。清須市の中で市民を集まって、よその人を呼ぶのではなく、市内の基点から住民が巡ることで、健康といろんなことを知ったりする機会になるのではないかと。それも、ひとつの視野として頭に入れていただければと思います。

○石垣委員

それって、清洲城で集まってウォーキングしたりしていますよね。あれはここでやっていますか。

●事務局

それは企画政策課のほうで毎年、春と秋にやっています。

今回、清須市誕生7周年を記念して、これも企画政策課のほうで予定をしているのですが、市の文化歴史施設7ヶ所を巡るということで7月7日を皮切りに、その後3週間の土日祭日の7日間を市民限定ということで、お城でスタンプを押したり、美術館で押したり、スタンプラリーウォークをやるということです。

○和田委員長

もうそれは決定ですか。個人的な話で申し訳ないんですが、なかなか企画が遅くて、私たちもいろいろと参加をさせていただくにあって、本当に出てくるとすぐということですので、今後いろんな行事をやるということを市民の皆さんにお知らせいただければ、もう、7月の話が6月になっておりますので、3ヶ月くらい前にお知らせをいただくと多くの方が参加していただけるかなと思います。

○牧野委員

小学生や中学生に日本的に重要な朝日遺跡の認知度調査が、去年か一昨年ありましたが驚くような数字が出ているのですね。30%もなかったと思います。子どもが清須市にある重要な遺産について知らない。逆に言うと学校教育どうなっているのかなと。外から来た先生だから知らないのですね。教科書に

書いてあることは教えてみえると思うのですが、具体的に「親と一緒に見に行きなさい。」と言うとかね。清須市の方がそういうことを意識しないで、観光課の人は外から人を呼ぼうと思っているようですが、まず、市民に周知を徹底するというのが先です。

○和田委員長

去年度の東尾張支部研修会で新城市が「旧作手村の湿原」について発表されたのですが、新城市の方が質問をされて「それはどこにあるの」と。結局、合併したから今みたいな現状が起こるのですが、お互いのこととよく分かるような企画をしていただければと思います。家でおばあさんとかが教えてくれたことが、なかなか教えられない時代になりましたので、そういったことも25年度に取り上げていただければと思います。

他に全体を通して何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
格別、質問もないようですので、事務局にお返しします。

●事務局

長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。
それでは閉会の言葉を平松副委員長お願いします。

○平松副委員

これを持ちまして平成24年度第1回社会教育委員会を終了させていただきます。

閉会（ 午後4時05分 閉会 ）

清須市立図書館視察

会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育委員会生涯学習課 052-409-6471（清洲市民センター）